

ご存知ですか？在宅医療

住み慣れた場所で、自分らしく過ごしたいと思うあなたへ



入院での治療が終わり退院を促されたり、家に帰ってもひとりで病院に通えなくなったり、とても不安になりますね。

そのような時、

あなたが生活の場で受けることができるのが「在宅医療」や「在宅介護」です。

もくじ

1	考えておきましょう	1
2	在宅医療の流れ	3
3	わたしたちは、あなたのサポートチーム	5
4	在宅医療の具体例	7
5	Q&A	9
6	東淀川区安心相談窓口	11

考えておきましょう。

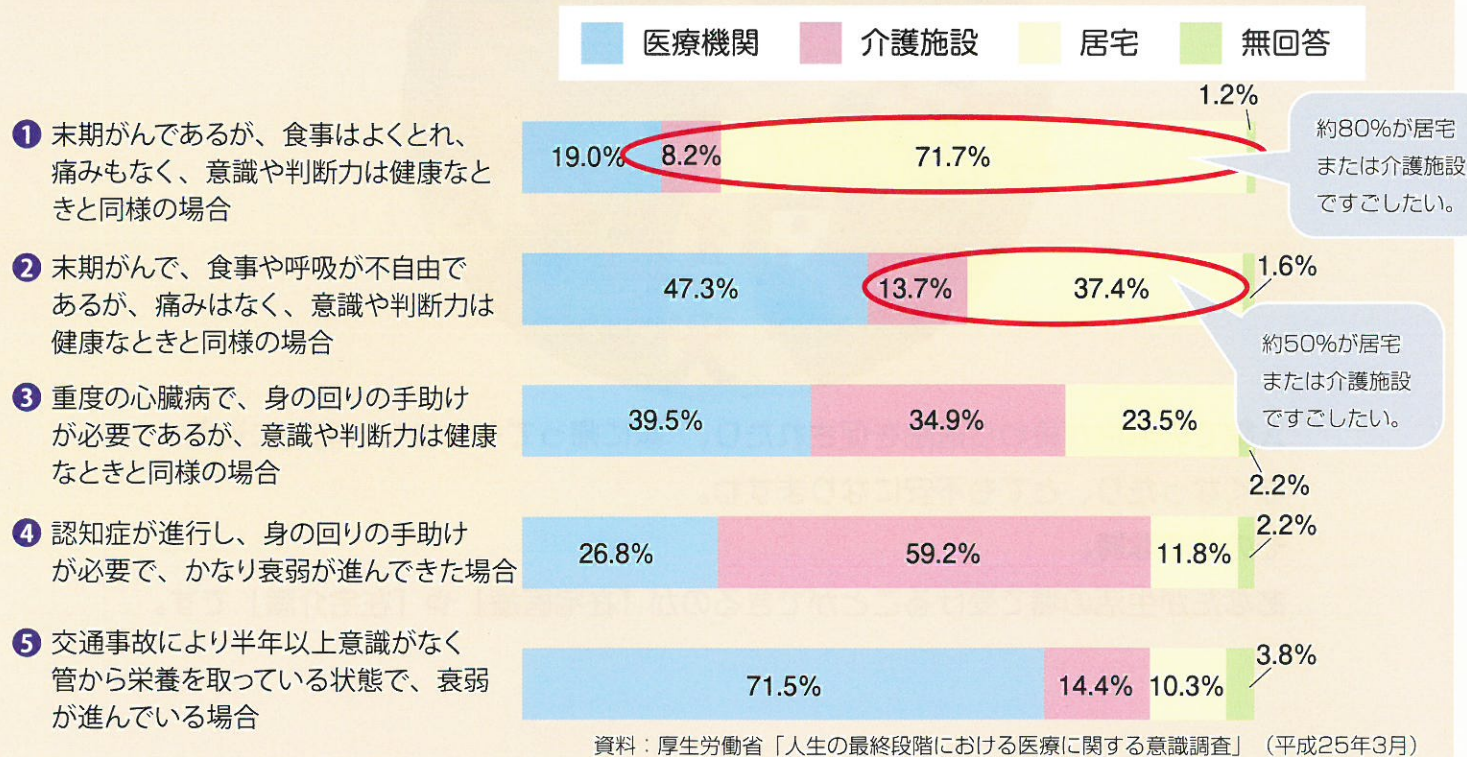
人は必ず
死を迎えます。

あなたは人生の終末期をどのように過ごしたいと思いますか？

最期をどこで迎えたいと思いますか？

厚生労働省による「人生の最終段階を過ごしたい場所」についての調査では、末期がんではあるが食事はよくとれ、痛みもない人の80%が、末期がんではあるが食事が不自由ではあるが痛みがない人の50%が、居宅または介護施設での療養を希望しています。

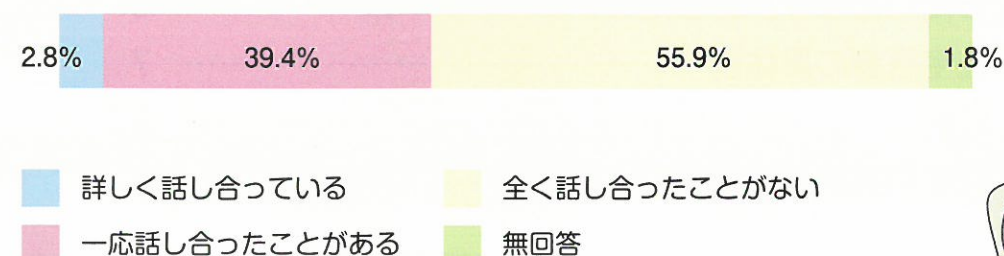
一般国民における「人生の最終段階を過ごしたい場所」についてのまとめ



人生の最終段階における医療について※家族と話し合ったことがある人の割合

※自身の死が近い場合に受たい医療や受たくない医療について

家族と話し合いをしたことがある人の割合は、約4割でした。

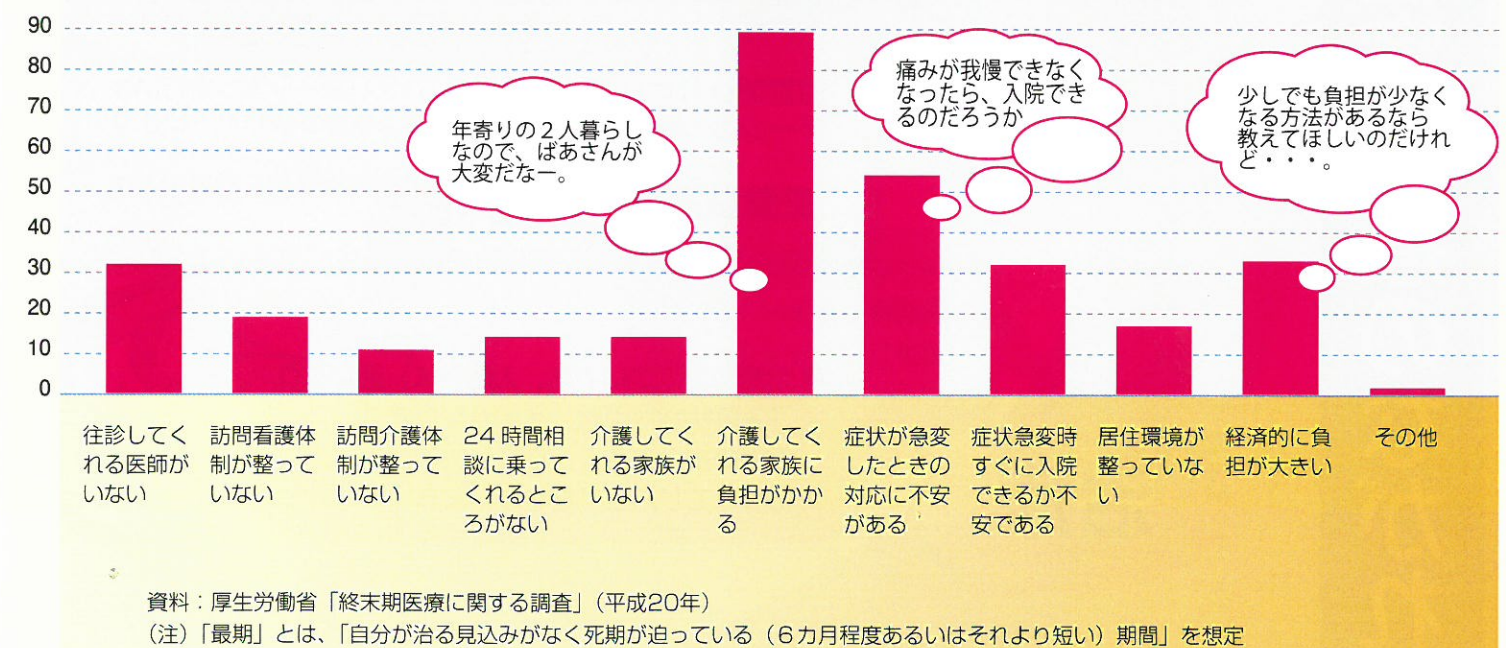


元気なうちから考え、家族と話し合っておくことが大切です。

一方、「在宅で最期まで療養することが実現困難な理由」については、1位が「介護してくれる家族に負担がかかる」、2位が「症状が急変した時の対応に不安がある」、次いで「経済的に負担が大きい」となっています。家族の負担を心配する人が多いことからわかるように、自宅で過ごすには家族の協力が欠かせません。

また、「人生の終末期における医療」について、家族と話し合ったことがある人の割合は、およそ4割でした。

自宅で最期まで療養することが実現困難な理由（複数回答）



病気や障がいからだが不自由になったとしたら、

- どのような場所で過ごしたいか
- どのような医療や介護のサービスを受けたいか
- 何かあったときにどこまでの治療を希望するのか などについて、

自分らしい生活を送るために、また最期まで尊厳をもって人生を全うするために、元気なうちから家族と一緒に考えておきましょう。

